# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2003-080102

(43)Date of publication of application: 18.03.2003

(51)Int.Cl.

B02C 18/42

B02C 13/16

B02C 13/28

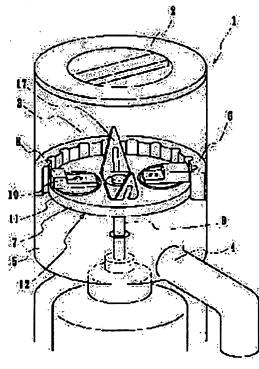
B02C 18/18

(21)Application number: 2001-279086 (71)Applicant: TERAL KYOKUTO INC

(22) Date of filing: 14.09.2001 (72) Inventor: FUJII TAKEO

SASAKI YASUHIRO

### (54) ROTARY BLADE OF DISPOSER



(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent garbage from being caught in a space between a rotating table and a hammer block in a disposer which is a type where the hammer block is rotated on the rotating table.

SOLUTION: In the disposer 1, the rotating table 7 and the hammer block 8 rotatably attached onto the rotating table 7 are disposed in a casing 5, and the rotating table 7 is rotated by a drive unit disposed under the caging 5 to rotate the hammer block 8 on the rotating table 7 for crushing the garbage. A small disc 11 is rotatably attached onto the rotating table 7, and a rotary blade 12 composed by integrating a part of the small disc 11 with the hammer block 8 is installed in the disposer 1.

**LEGAL STATUS** 

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開 特開2003-84

(P2003-801

(43)公阳日 平成15年3月18E

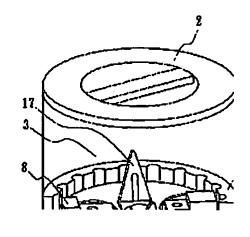
(51) Int.CL'		識別記号	FI		テーマ			
B 0 2 C	18/42		B 0 2 C	18/42		Z	4	
	13/16		1	13/16 13/28 18/18				
	13/28					A		
	18/18		İ			2		
			審查請求	<b>未說</b> 求	苗求項の数3		OL	
(21)出顧番号		特職2001 - 279086( P2001 - 279086)	(71)出廢人	)出庭人 000133939				
				株式会社	仕テラルキョク	ŀţ	ל	
(22)出題日		平成13年9月14日(2001.9.14)		<b>迈山小御幸町</b> 大	字系			
			(72) 発明者	藤井	<b>民</b> 夫			
				広島県村	岛山市 <b>伊幸</b> 町大	字刻	and the	
				テラルキョクト	レキョクトウ内			
			(72)	笹木 老	<b>泰</b> 统			
				広岛與社	岛山市神幸町大	字名		
				式会社	テラルキョクト	ウド	ป	
			(74)代理人	1000720	<b>)51</b>			
				弁理士	衫村 與作	4	12:	

#### (54) 【発明の名称】 ディスポーザの回転刃

### (57)【要約】 (修正有)

【課題】 回転板上でハンマーブロックを回転させる形式のディスポーザにおいて、回転板とハンマーブロックの隙間に生ゴミが挟まるのを防止する。

【解決手段】 ケーシング5内に、回転板7と、その回転板7上に回転可能に取りつけられたハンマーブロック8とが配置され、前記回転板7はケーシング5の下部に設置した駆動装置により回転され、それに伴い回転板7上のハンマーブロック8が回転して生ゴミの破砕を行うディスポーザ1において 回転板7上に小円板11を自



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 上部に生ゴミ投入口及び生ごみ般幹部を有し、下部に吐出口を有するケーシング内に、固定刃と、該固定刃の内側で回転するようにした回転板と、該回転板上に自転可能に取りつけられたハンマーブロックとが配置され、前記回転板はケーシングの下部に設置した駆動装置により回転され、回転板の回転に伴い回転板上のハンマーブロックが自転して生ゴミの破砕を行うディスポーザにおいて、回転板上に、ハンマーブロックと一体化した小円板を自転可能に取付けたことを特徴とす 19 るディスポーザの回転刃。

1

【請求項2】 前記小円板は、その表面が前記回転板の 表面と略同一平面を形成するように、回転板内に設けた 円孔内に配置され、該円孔に設けた枢軸の回りを自転す るようにした、請求項1に記載のディスポーザ。

【語求項3】 回転板の中心部に、適宜形状の切削刃を 固定し、回転板と共に回転させるようにした、語求項1 又は2に記載のディスポーザ。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】との発明は、厨房の流し台に 設置する、生ゴミ破砕用ディスポーザの回転刃に関す る。

[0002]

【従来の技術】従来、厨房の流し台に設置する生ゴミ破砕用ディスポーザは、容器状の生ゴミ破砕部内に、固定刃と、この固定刃の内側で回転するようにした回転板とこの回転板上で自転する複数のハンマーブロックを配置した回転刃とを設け、ディスポザ下部に配置した駆動装置により回転板を回転させるとともに、回転板の回転に 30 伴ってハンマーブロックが回転板の上で自転しながら生ゴミ般砕部内の生ゴミを破砕し、回転刃と固定刃の間で生ゴミを更に破砕して、このようにして細かくされた生ゴミを、排出部から排出するようにしている。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】このように回転板上で
ハンマーブロックを回転させる形式のものは、単に回転
刃を設けたものに比べて生ゴミの破砕力が大きい反面、
回転板とハンマーブロックとの間の陰間に生ゴミが挟ま
り ハンマーが自転できなくなって そのロック状態の 45

は、上部に生ゴミ投入口及び生ごみ破砕i に吐出口を有することを特徴とする。

【①①①5】小円板は、回転板上に値設 転可能に取付けられているが、小円板の。 板の表面と略同一平面を形成するように、 板に設けた円孔内に配置して、円孔に設 を自転させるようにすれば、小円板と回 間をより小さくして、その結果生ゴミの。 なくすることができる。

【①①①6】回転板上でハンマーブロッ 圏外の領域、例えば回転板の中心部に、 刃を固定し、回転板と共に回転させると 転板上に落下する生ゴミを一次的に破砕 である。

[0007]

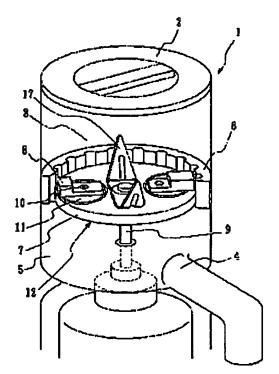
【発明の実施の態様】この発明のディス: の一実施例を図1、2及び3に示す。デ は、上部に生ゴミ投入口2及び生ごみ般に 下部に吐出口4を有するケーシング5内。 26 定刃6と、その固定刃の中で回転する回 回転板7上に回転可能に取りつけられた. ク8とが配置され、前記回転板6はケー に設置した駆動装置の枢軸9によって回 伴い回転板7上のハンマーブロック8が の破砕を行う。この場合、回転板7上に 設し、この小妪軸10に小円板11を自! け、この小円板11の一部をハンマーブ 化し このようにしてディスポーザ1の 成する。回転列12の回転により破砕さ: 固定刃6との陰間からケーシング5の下i 出口4から鎌出される。なお回転板7の 水抜き孔13が孔設され、ケーシング51 4に送る。

> 【①①①8】図2及び3に示すように、1 円板11が自由に自転できる程度の円孔 回転板7の下部に固定した当て板15に るボルト16を値設し、このボルト16 ック8と一体化した小円板11を回転自 とにより、小円板11を回転板7内に埋 と小円板すなはちハンマーブロック8と

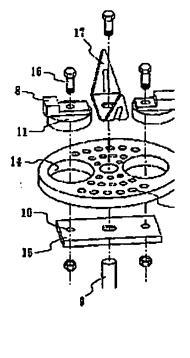
BEST AVAILABLE COPY

	(3)			特闘2003
3				4
ような作用効果を有する。	k	2	投入口	
(1) 回転板とハンマー底面の間の陰間が無くなるの		3	破碎部	
で、従来のような生ゴミの決まりが無くなる。		Ų	吐出口	
(2)ハンマー外国と回転刃との隙間に生ゴミが挟まっ		5	ケーシング	
ても上下方向であるので破砕室を分解しないでも、使用		6	固定刃	
者が投入口から手で容易に除去できる。	回転板			
(3)回転板とハンマーとの隙間を小さく製作管理する		8	ハンマーブロック	
必要がないので、生産性が向上する。		9	枢軸	
【図面の簡単な説明】		10	小抠軸	
【図1】 この発明のディスポーザの回転刃の一実施例	10	11	小円板	
を示す見取り図である。		12	回転刃	
【図2】 この発明のディスポーザの回転刃の構成部品		13	水抜き孔	
を展開して示す。	<b>四孔</b>			
【図3】 図1に示す回転刃の縦断面図である。		15	当て板	
【図4】 従来のディスポーザの見取り図である。		16	ボルト	
【符号の説明】		17	切削刃	
1 ディスポーザ	*			

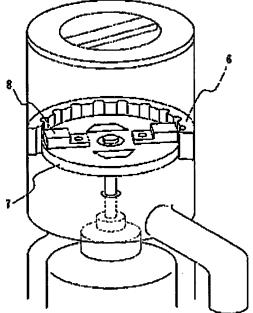












フロントページの続き

Fターム(参考) 40065 AA16 BB03 BB11 BB20 CA16 CB19 CC04 DD04 DD18 DD24 EB17 ED06 ED16 ED27